

使用上の注意事項！！

衝突被害軽減ブレーキ（スマート・ブレーキ・サポート/SBS）

レーダーセンサーおよびカメラが前方車、歩行者（昼間/夜間）、自転車（昼間）へ衝突する可能性があるかと判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害を軽減。ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

- * 対象が前方車：約4km/h以上
対象が歩行者（昼間/夜間）、自転車（昼間）：約10km/h～約80km/h
- * 対象物の形状（低い・小さい・細いなど）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（急カーブ、急な坂道など）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

危険回避ステアリングアシスト（レーンキープ^o・アシスト・システム/LAS）

約60km/h以上で走行中に車線の白線（黄線）を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシストします。

- * 天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

ペダルの踏み間違い事故防止（AT誤発進抑制制御〔前進時/後進時〕）

走行中（前進時：約50km/h以下、後退時：約15km/h以下）や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に対象物（前進時：障害物、先行車、歩行者
後進時：障害物、歩行者）を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑制。
前進時には、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害を軽減します。

- * 障害物の形状（低い・小さい・細いなど）、天候状況（雨・雪・霧など）、道路状況（平坦でないなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)

ALHは、フォワードセンシングカメラ(FSC)を使用することにより夜間走行時に前方の状況を判断し、ヘッドランプの照射範囲、照射部分、明るさを自動的に変化させるシステムです。

- * システムを過信せず、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を手動で切り替えてください。

- * SBS、LAS、AT誤発進抑制制御〔前進時/後進時〕、ALHは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、運転負荷や事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

その他、MAZDA OFFICIAL WEB SITE をご確認ください。